

# J's Café HOKKAIDO 2020①

## - 地域の拠点 -

北海道東川町は、大雪山旭岳の麓に位置する町で、写真甲子園や国際写真フェスティバルなど「写真の町」の取組を軸に、独自のまちづくりが進められています。

この東川町では、中心部にあった小学校を移転改築し、2014年に子供たちへの食育をはじめ地域と学校が連携したプログラムが展開されている「東川小学校・地域交流センター」が完成しました。その後、移転した旧小学校校舎とグラウンドを活用して、2016年に「せんとびゅあⅠ」、2018年に「せんとびゅあⅡ」が完成し、東川町が有する写真文化、家具デザイン文化、大雪山文化を通じた文化活動を中心に、図書機能、国際交流や日本語学校、住民の地域交流など、各機能が融合し、多様な人々と文化の交流が生まれています。

今回のJ'sCafeHOKKAIDOは、これらの整備にあたり、計画から設計、運営まで長く関わっている北海道大学の小篠准教授をゲストに迎え、これらの拠点をづくりあげた経緯と、そこでの工夫やねらい、これらの施設が地域に与えた影響やまちの変化などについてお聞きし、こうした「地域の拠点」が果たす役割、つくり方や使い方、今後の可能性について議論します。

**日時** : 2020年12月10日 (木) 18:30~20:30

**開催方法** : Zoomによるオンライン交流

**参加費** : 無料

**ゲスト** : 小篠 隆生 (Takao Ozasa)

北海道大学大学院工学研究院 准教授



1958年生まれ。1983年北海道大学工学部建築工学科卒。2006年から北海道大学大学院工学研究院准教授。博士(工学)。一級建築士。専門は、キャンパス計画、都市計画、都市デザイン、建築計画。主な著作に、『「地区の家」と「屋根のある広場」イタリア発・公共建築のつくりかた』(2018年、鹿島出版会、共著)、『Regenerative Sustainable Development of Universities and Cities』(2013年、Edward Elgar、分担執筆)、『いまからのキャンパスづくり』(2011年、日本建築学会、分担執筆)、『地域と大学の共創まちづくり』(2008年、学芸出版社、分担執筆)など。主な作品に、北海道大学ファカルティハウス(1995年)、遠友学舎(2001年、日本建築学会北海道建築賞)、横丹町立余別小学校(2003年、文教施設協会賞)、東川町立東川小学校+地域交流センター(2014年、北の響アート賞奨励賞、赤レンガ建築賞奨励賞、北海道建築賞)、東川小学校・地域交流センターとその周辺環境整備(2015年、アジア都市景観賞)。主な活動として、2016年に東川町学社連携推進協議会で農林水産大臣賞を受賞(むらづくり部門)。

**【お申込み】** お名前、所属、連絡先を明記し、下記のメールアドレスにお申し込みください。《E-mail: hokkaido@jsurp.jp》

### - J's cafe 北海道 -

街を取り巻くホットな話題をテーマにゲストスピーカーをお招きし、北海道・札幌を中心に活躍する多様なまちづくりプレイヤーとの会話・交流の場を提供します。分野を横断して語り合い、ネットワークの輪を広げ、互いの連携から新たな取組を創発する触媒となる場を目指したいと考えています。



東川町立東川小学校+地域交流センター



せんとびゅあⅠ



せんとびゅあⅡ